No.293の1　　［教室掲示用］

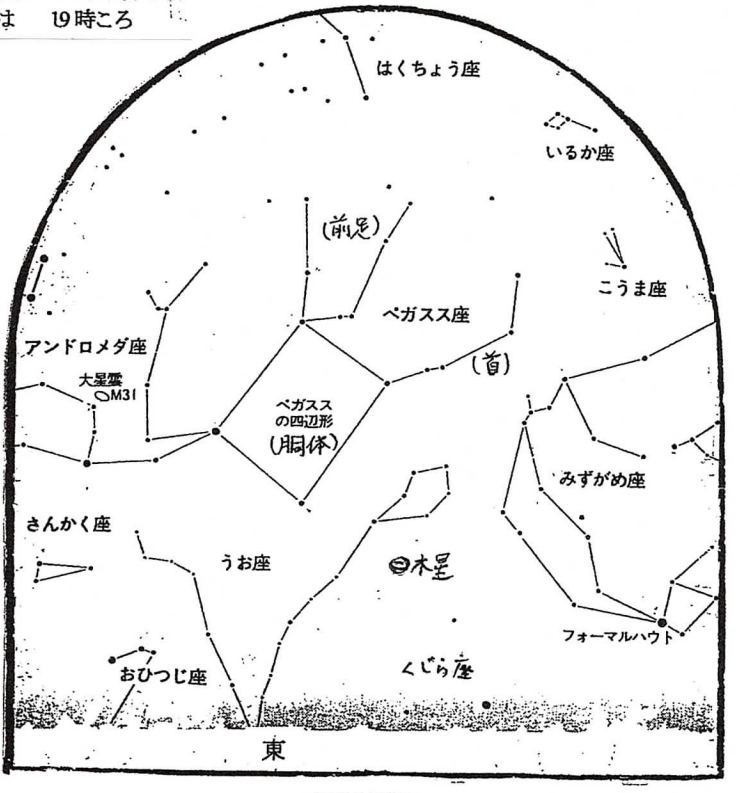
9月の星空情報

2022年　9月　1日

発行　黒石すばるの会
http://subaru9614.dip.jp

東の星空

月はじめは　21時ころ
10日前後は　20時20分ころ
20日前後は　19時40分ころ
月まつは　　19時ころ



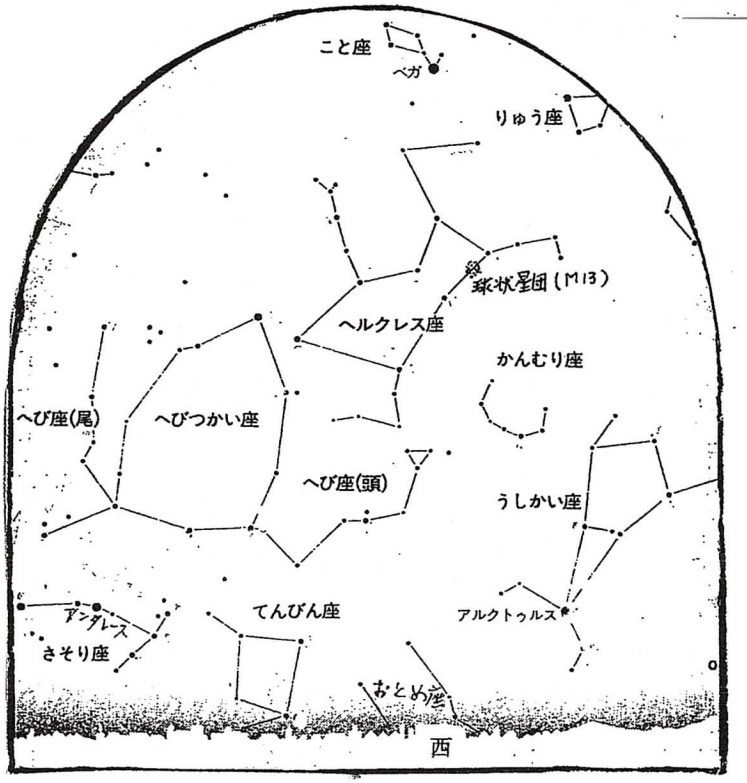
いま、東の空には大きなペガスス座の四辺形が見えます。これが神話では勇士ペルセウスが魔女メドゥサの首を切り落としたとき、血の中からおどり出たという翼のはえた天馬ペガススの胴体にあたります。

その右に逆さになった馬の首、上に2本の前足をのばした形がとてもよくわかります。

ペガスス座の左には双眼鏡や小さな望遠鏡でもわかるM 31という大星雲があるアンドロメダ座が見やすくなってきました。

また、ペガスス座の下には、大きなうお座が昇ってきて、今、そのうお座に－2.9等のかなり明るい木星がいて、今月は星座の中をあまり動きません。

西の星空



一般に、西の空はかすんでいて、星座がはっきりしないことが多いのですが右の図のヘルクレス座とへびつかい座は大きくて形が整っているので、とてもよく分かります。

そのヘルクレス座には、M 13という大変有名な球状星団があり、望遠鏡を使えば、星がたくさん集まっているようすを観察することができます。

また、時刻の関係で図には書けませんが、日が暮れて間もない西空のおとめ座には、日がたつにつれて0.4等から2.9等まで明るさが変わる水星がいます。